

大学ポートレート（仮称）構築のための論点整理 （大学ポートレート（仮称）準備委員会ワーキンググループ検討経過報告）

I これまでの検討経過

1. ワーキンググループの設置

- 平成24年2月、「大学における教育情報の活用・公表に関する中間まとめ」（平成23年8月5日：文部科学省「大学における教育情報の活用支援と公表の促進に関する協力者会議」）を踏まえ、大学や大学団体等の教育情報の活用・公表のための共通の基盤としての「大学ポートレート（仮称）」（以下、「大学ポートレート」）の整備に向けて、大学団体、認証評価機関、日本私立学校振興・共済事業団等からなる「大学ポートレート（仮称）準備委員会」（以下、「準備委員会」）が設置された。
- 同年3月、準備委員会は、大学ポートレートの整備に関し、
 - ・ 平成26年度からのシステムの本格稼働を念頭に、今後の検討を進めること
 - ・ 大学ポートレートの運営方針は、設置形態ごとの大学団体、評価機関、日本私立学校振興・共済事業団等関係団体、有識者からなる「運営委員会」が決定すること
 - ・ 大学ポートレートの執行業務は、「大学の質保証のための新法人」に置くことが想定されている「大学ポートレートセンター（仮称）」が担うこと
 - ・ 私立大学・私立短期大学については、日本私立学校振興・共済事業団で実施している情報収集と連携することにより、各大学の追加負担を回避することなどの方向性について了承した。
- また、これとともに、準備委員会の下に、「大学ポートレート（仮称）準備委員会ワーキンググループ」（以下、「ワーキンググループ」）を設置し、収集する教育情報の項目や表示方法をはじめとする大学ポートレートの整備に関する専門的な調査審議をワーキンググループで進めることを決定した。これを受け、ワーキンググループでは、本年5月から検討を開始した。
- ワーキンググループでは、以下のとおり、教育情報の「公表」と「活用」、及びその「管理運営」について、具体の論点に沿って検討を進めることとし、このうち、本年10月までに、「公表」に関し一定の意見の一致をみたため、その内容をワーキンググループ案として、準備委員会に報告することとしたい。

2. 検討に当たっての基本的考え方

（検討の進め方）

- ワーキンググループにおいては、検討を開始するに当たり、まず検討の進め方について、議論を行った。
「大学教育における教育情報の活用・公表に関する中間まとめ」では、大学ポート

レートが果たすべき役割として、

- ① 大学進学希望者やその保護者などの学費負担者をはじめとする大学教育に関係・関心を有する者に分かりやすく情報を提供すること（「公表」）
- ② 大学への各種調査などの負担を軽減したり、教育の質の向上に資する教育情報の分析を促進すること（「活用」）

の2つの必要性が指摘されている。

このことを踏まえ、ワーキンググループでは、「公表」と「活用」を分け、それぞれについて検討することとし、このうち「公表」について、先行して議論を開始した。

- 加えて、私立大学・私立短期大学については、日本私立学校振興・共済事業団が私立大学関係者からなる「私学情報推進会議」を設置し、教育情報の公表・活用に関する検討を開始しており、本ワーキンググループでは、同会議との連携を図りながら検討を進めることとした。

(基本的考え方)

- ワーキンググループでは、検討のための基本的考え方を以下のとおり設定した。

- 大学ポートレートへの参加・不参加は、各大学の任意とすること。
- 大学ポートレートは、教育情報の公表・活用を主眼とすること。
- 情報の収集に当たっては、大学の作業負担を増加させない工夫を行うこと。
- 大学ポートレートは、平成26年度からのシステムの本格稼働後も継続して改善・改良を加えること。

- このうち、情報の収集に関しては、国立大学については、大学評価・学位授与機構が、「大学情報データベース」により、国立大学法人評価に使用する情報の収集・蓄積を行ってきた（平成24年度からシステムによるデータ収集は停止）。公立大学・公立短期大学については、公立大学協会及び全国公立短期大学協会が、各大学の基本情報を収集し、HP上で公表している。私立大学・私立短期大学については、日本私立学校振興・共済事業団が、「学校法人基礎調査」等を通じ、情報を収集し、事業団内に設置するデータベースに蓄積している。
- ワーキンググループにおける議論の中では、
 - ・ 同じ情報を複数機関に複数回回答すること自体が各大学にとっては負担。
 - ・ 既に日本私立学校振興・共済事業団による情報の収集・蓄積体制が整っている私立大学・私立短期大学については、大学ポートレートで必要となる情報は「学校法人基礎調査」への1度の回答で対応可能となるような工夫が必要。との意見があった。各大学の負担を軽減する観点、また、大学ポートレートを効率的に運営していく観点からも、既存の体制や資源を可能な限り活用することが合理的であり、ワーキンググループとしては、大学ポートレートにおける情報の収集・公表に当たっては、別添1の体制をとることが適当との結論を得た。

【別添1】大学ポートレートにおける情報の収集・公表体制

3. 公表

- 次に、ワーキンググループでは、大学ポートレートにおける「公表」について議論を行った。その際、（１）大学ポートレートにおける公表の目的とステークホルダーをどのように考えるか、（２）大学ポートレートで公表する情報項目はどのようなものが適当か、（３）どのような表示形式で情報を公表することが考えられるのかの３つの視点で検討を深めた。

以下に、（１）～（３）の３つの視点でのそれぞれの論点と、ワーキンググループにおける検討結果を記述する。

（１）公表の目的とステークホルダー

- 大学ポートレートにおける公表の目的をどのように考えるか。
- 公表に当たっては、どのようなステークホルダーを重視するか。

《具体の論点》

- 大学ポートレートにおける公表の目的をどのように考えるか。国内外の大学教育に関心を有する者（ステークホルダー）に分かりやすく情報を発信することと考えてよいか。
- ステークホルダーは、大学進学希望者やその保護者などの学費負担者、高等学校関係者、自治体、産業界など多岐にわたる。その中で、どの者を重視するのか。

《ワーキンググループにおける検討結果》

- 大学ポートレートにおける公表は、大学教育を取り巻くステークホルダー、中でも、最も重要なステークホルダーである大学進学希望者とその保護者などの学費負担者にとって分かりやすいものとなるよう構築を図っていくことが適当。

（２）公表する情報

- 大学ポートレートにおいて、どのような情報を公表することが考えられるのか。

《具体の論点》

- 大学の教育情報には、例えば、
 - ・ 教育研究上の基本組織に関する情報（学部、学科、研究科等の名称や目的など）
 - ・ 教育課程に関する情報（教育内容や卒業・修了要件、取得可能な学位・資格など）
 - ・ 教員に関する情報（教員の数やその構成など）
 - ・ 学生に関する情報（収容定員や学生の数、その構成など）
 - ・ キャンパスに関する情報（所在地や施設・設備の状況、交通手段など）
 - ・ 学生支援に関する情報（学生の修学に関する支援や就職・進路選択に関する支援

の状況など)

- ・ 学生生活に関する情報 (クラブ活動やボランティア活動の状況など)
 - ・ 費用に関する情報 (授業料、入学料など)
 - ・ 経済的支援に関する情報 (奨学金や授業料減免の状況など)
 - ・ 進路に関する情報 (卒業・修了の状況、卒業・修了後の進路など)
 - ・ 評価に関する情報 (認証評価や国立大学法人評価、その他の客観的評価結果など)
- など様々なものが存在しているが、このうち大学ポートレートにおいて、どのような情報を公表することが考えられるのか。

- 学校教育法施行規則第172条の2の規定により大学に公表が義務付けられている9項目に含まれる情報について、大学ポートレートの中でどのように位置付けるべきか。
- ステークホルダーに分かりやすく情報を公表するとの観点から、大学全体として示すべき情報と学部・学科、研究科等の単位で示すべき情報を分ける必要があるのではないか。
- 情報を公表することにより各大学の負担が軽減することも考えられることから、公表する項目の検討に当たっては、そのような視点での検討も必要ではないか。

《ワーキンググループにおける検討結果》

- 大学ポートレートに参加するすべての大学が共通して公表する教育情報は、学校教育法施行規則に規定する9項目と大学に対する外部の評価 (認証評価、国立大学法人評価、公立大学法人評価など) の結果を含めることが適当。
- これに加え、
 - ・ 例えば学生寮の整備状況など、大学進学希望者やその保護者などの学費負担者の関心の高い情報
 - ・ 各大学、学部・研究科等の特色等を盛り込むことが適当。
- 具体的には別添2のとおり設定することが適当。

なお、議論の過程で、大学進学希望者とその保護者を最も重要なステークホルダーとして位置付けるのであれば、これらの者の関心の高い入試方法別の合格者数や入学者数、中退率、卒業・修了後の状況の詳細は参加するすべての大学が共通して発信する教育情報に位置付けるべきとの意見があった。一方、これに対して、数値のみが独り歩きする可能性もあることから、これらの情報の公表については慎重であるべきとの意見もあった。このため、大学進学希望者・保護者など学費負担者のニーズや今回公表することとした情報公表後の効果や影響等も踏まえながら、これらの情報の公表の可否について、今後も検討を続けていく必要がある。

【別添2】国公立共通に公表する教育情報 (案)

(3) 公表の形式

- 情報をどのような形式で公表するのか。

《具体の論点》

- 情報の公表に当たっては、諸外国における公表の形式も参考としつつ、画一的なランキングにならないよう、数値のみの表示ではなく、文字情報との組み合わせによる工夫や、図やグラフの活用等が必要ではないか。また、リスト化を避けて、ペーパービュー形式で表示するなどの工夫も考えられるのではないか。
- 分かりやすい公表とするためには、どのような検索機能が必要か。
- 各大学の特色・強みとして、どのような情報を強調して公表すべきか。特色・強みの公表に当たっては、任意の項目の設定などの工夫も考えられるのではないか。
- 公表に当たっては、各大学の入力負担を軽減しつつ、充実した情報を提供する観点から、各大学のHP等へのリンクを活用するなどの方策が必要ではないか。

《ワーキンググループにおける検討結果》

- 大学ポートレートによる教育情報の公表は、大学進学希望者及び学費負担者にとって分かりやすい表示となるよう、数値のみの表示ではなく、文字情報や図・グラフ、写真などを活用すべき。また、画一的なランキングにならないよう、ペーパービュー形式で表示することが適当。
- 大学ポートレートウェブサイトのトップページでは、国公立を通じた共通枠組の中で検索できるようにすることが適当。
- 検索機能については、利用者の利便性を考慮し、簡易検索と詳細検索を設けることが必要。簡易検索については「大学名」、「学部・研究科名」、「学科・専攻名」、「キャンパスの所在地」、「学問分野」、「課程区分」による検索を国公立を通じた共通枠組の中で可能とし、詳細検索については国公立それぞれにおいて適当な検索項目を設定することが適当。
- 大学の作業負担に配慮しつつ、公表する情報量を充実させるためには、各大学のHPへのリンクを活用することが必要。
- 具体的には別添3のようなイメージが考えられること。

【別添3】大学ポートレート検索・表示イメージ

Ⅱ 今後の検討課題

以上のとおり、ワーキンググループでは、平成24年5月の検討開始以降、主に大学ポートレートに関する基本的な考え方と教育情報の公表に関する事項を中心として議論を進めた結果、(1) 公表の目的等、(2) 公表する情報、(3) 公表の形式について一定の意見の一致に至った事柄について報告を行うものである。今回合意に至らなかった点も含め、大学ポートレートにおける「公表」の在り方については、大学ポートレートの開始後もステークホルダーの意見も踏まえつつ検討を行い、その一層の充実に向けて継続的に改善に取り組むこととする。

また、今回検討が十分に熟さなかった海外に向けた多言語での公表の方策については、整備コストや大学の負担を踏まえつつ、別途検討を進めていくこととする。

このほか、「公表」以外の残された検討課題として、

- ① 教育の質の向上に資する大学における大学ポートレートを活用した教育情報の分析、
 - ② 大学ポートレートの運営体制（運営委員会等）の在り方等、
- についても順次検討を行うとともに、平成26年度からの大学ポートレートの円滑な開始に向けて、各大学の作業の参考となるガイドラインの作成等の準備を進めることが必要である。

大学ポータル（仮称）準備委員会ワーキンググループ委員名簿

平成24年4月26日現在

（50音順・敬称略）

| | | |
|------|----|---------------------------|
| 浅野 | 茂 | 神戸大学企画評価室准教授 |
| 麻生 | 隆史 | 山口短期大学理事長・学長 |
| 宇川 | 彰 | 筑波大学理事 |
| 圓月 | 勝博 | 同志社大学文学部長 |
| ○ 小林 | 雅之 | 東京大学大学総合教育研究センター教授 |
| 佐川 | 秀夫 | 学校法人文化学園理事・学園経理本部長 |
| 高橋 | 哲也 | 大阪府立大学副学長 |
| 鳥居 | 朋子 | 立命館大学教授 |
| 中田 | 晃 | 一般社団法人公立大学協会事務局長 |
| 松本 | 美奈 | 読売新聞東京本社教育取材班「大学の實力」担当 |
| 村上 | 哲也 | 大月短期大学長 |
| 山本 | 雅淑 | 日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センター長 |

※ ○は主査

審 議 経 過

○ 大学ポートレート（仮称）準備委員会ワーキンググループ

平成24年5月31日（木）（第1回）

- 議題 （1）会議の公開について
（2）大学ポートレート（仮称）構築に向けた検討課題について
- ・ 検討の進め方、基本的考え方について審議

平成24年7月31日（火）（第2回）

- 議題 （1）大学ポートレート（仮称）構築に向けた検討課題について
- ・ 公表の目的とステークホルダーについて審議

平成24年9月18日（火）（第3回）

- 議題 （1）大学ポートレート（仮称）構築に向けた検討課題について
- ・ 公表する情報項目について審議

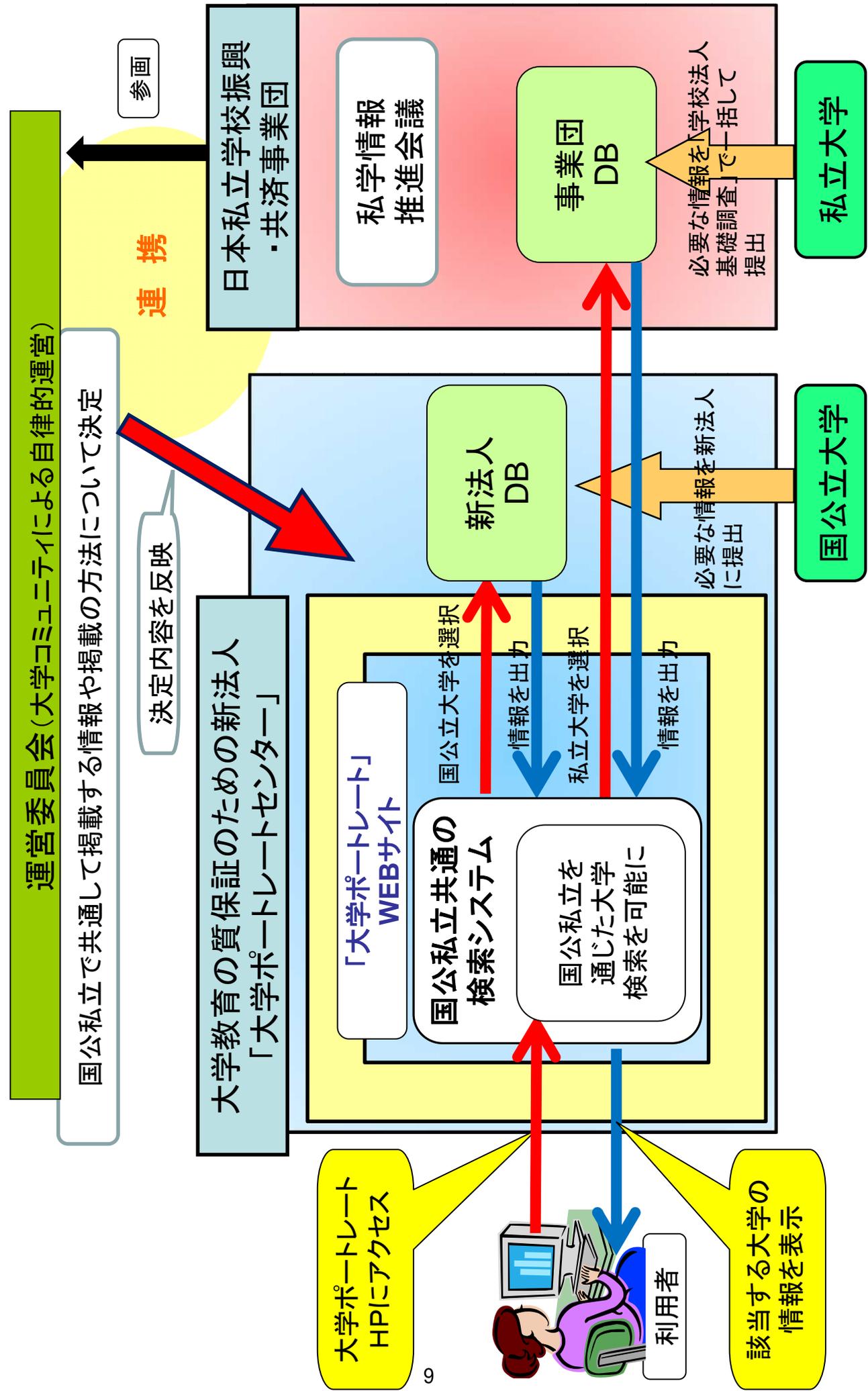
平成24年10月11日（木）（第4回）

- 議題 （1）大学ポートレート（仮称）構築に向けた検討課題について
- ・ 公表する情報項目、表示形式について審議

平成24年10月30日（火）（第5回）

- 議題 （1）大学ポートレート（仮称）構築に向けた検討課題について
- ・ 公表する情報項目、表示形式について審議・取りまとめ

大学ポータルサイトにおける情報の収集・公表体制



国公立共通に公表する教育情報（案）

別添2

注1. 表中、 は、公表を希望する大学のみ、大学ポートレート上に情報を表示する項目である。

注2. 「ポートレートへの直接掲載」欄のうち、「【参考】学校基本調査項目」欄に■を付した項目は、学校基本調査XMLファイルからの自動取込みが可能なものである。

1. 大学単位で公表する情報

| 情報項目 | | | 掲載方法 | | 学校教育法施行規則で各大学に公表が義務付けられた9項目 |
|--------------|-----------------|-------------------------------------|--------------|-----------|-----------------------------|
| | | | ポートレートへの直接掲載 | 大学HPへのリンク | |
| 大学の基本情報 | 大学名 | | ○ | ■ | |
| | 大学の連絡先 | 代表電話の番号、メールアドレスなど | ○ | | |
| | 大学の種類 | 国公立の別、修業年限、大学院の有無、認定専攻科の有無など | ○ | | |
| | 本部所在地 | | ○ | ■ | |
| | 設立年 | 設置認可年 | ○ | | |
| | 総学生数 | | ○ | ■ | ▲ |
| | 総教員数 | | ○ | ■ | ▲ |
| 大学の教育研究上の目的等 | 大学の教育研究上の目的等 | 大学の教育研究上の目的や建学の精神 | ○ | | |
| 大学の特色等 | 大学の特色等 | 大学の特色や特徴、TOPICSなど | ○ | | ○ |
| 教育研究上の基本組織 | 学部、研究科、学科の名称 | | ○ | ■ | ▲ |
| | その他の学内組織の名称 | 各種センターや研究所、その他の附属組織など | ○ | ■ | リンク可 |
| キャンパス | キャンパスの概要 | 主な交通手段や所要時間など | ○ | | ○ |
| 評価結果 | 認証評価及びその他の評価の結果 | 認証評価、国立大学法人評価、公立大学法人評価、その他の客観的評価の結果 | ○ | | ○ |
| 学生支援 | 修学支援 | | 掲載可 | | ○ |
| | 心身の健康に係る支援 | | 掲載可 | | ○ |
| | 留学生支援 | | 掲載可 | | ○ |
| | 障がい者支援 | | 掲載可 | | ○ |
| | 就職・進路選択支援 | | 掲載可 | | ○ |
| 課外活動 | クラブ活動の状況 | | 掲載可 | | ○ |
| | ボランティア活動の状況 | 単位として認められるボランティア活動など | 掲載可 | | ○ |

2. 学部・研究科等の単位で公表する情報

| 情報項目 | | | 掲載方法 | | | 学校教育法施行規則で各大学に公表が義務付けられた9項目 |
|------------------|------------------------------|---------------------------|--------------|---------------------|-----------|-----------------------------|
| | | | ポートレートへの直接掲載 | 【参考】 学校基本調査の調査項目 | 大学HPへのリンク | |
| 教育研究上の目的と3つの方針 | 学部、研究科、学科等ごとの目的 | | ○ | | | ▲ |
| | 入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー) | | ○ | | リンク可 | ▲ |
| | 教育課程編成・実施方針 (カリキュラム・ポリシー) | | ○ | | リンク可 | |
| | 学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー) | | ○ | | リンク可 | |
| 学部・研究科等の特色等 | 学部・研究科等の特色等 | 学部・研究科等の特色や特徴、TOPICS、GPなど | ○ | | ○ | |
| 教育課程 | 学科、専攻、専攻課程等の名称 | | ○ | ■ | | |
| | 修業年限 | | ○ | ■ | | |
| | 取得可能な学位 | | ○ | | | |
| | 教育課程の特色等 | 履修モデル、カリキュラムマップなど | ○ | | ○ | |
| | 授業科目 | | | | ○ | ▲ |
| | 授業の方法・内容 | | | | ○ | ▲ |
| | 年間の授業計画 | シラバスや年間の授業計画の概要など | | | ○ | ▲ |
| | 学生が修得すべき知識及び能力に関する情報 | | | | ○ | ▲ (努力義務) |
| | 学修の成果に係る評価の基準 | | | | ○ | ▲ |
| | 卒業・修了認定の基準 | 必修単位修得数(必修科目、選択科目、自由科目別) | | | ○ | ▲ |
| | 取得可能な主な資格 | 資格の名称や取得人数など | | | ○ | |
| 転学部・編入学等の可否、費用負担 | | | ○ | | | |
| 入試 | 入学者数 | | ○ | ■ | | ▲ |
| | 入学者の構成(男女別) | | ○ | ■ | | |
| | 入学者の構成(出身高校所在地別) | | ○ | ■ | | |
| | 入学者の構成(入試方法別) | | ○ | | | |
| | 実施している入試方法 | | ○ | | | |
| 入試特別措置 | | ○ | | | | |

| 情報項目 | | | 掲載方法 | | | 学校教育 法施行規 則で各大 学に公表 が義務付 けられた 9項目 |
|---------------|--------------------------|--|--|-----------------------|-----------------------------|---|
| | | | ポ ー ト レ ー ト へ の 直 接 掲 載 | 大学H Pへの リン ク | | |
| | | | | | 【参考】 学校基本 調査の調 査項目 | |
| 教員 | 教員組織 | 組織内の役割分担など | | | ○ | ▲ |
| | 教員数 | | ○ | ■ | | ▲ |
| | 教員の構成(職位・男女・外国人教員別) | | ○ | ■ | | |
| | 教員の構成(年齢別) | | ○ | | | |
| | 教員が有する学位、業績 | 研究業績その他各教員の多様な業績 | | | ○ | ▲ |
| 学生 | 収容定員 | | ○ | | | ▲ |
| | 学生数 | | ○ | ■ | | ▲ |
| | 学生の構成(年次・男女・外国人学生別) | | ○ | ■ | | |
| | その他の学生数 | 研究生、科目履修生、専攻科の学生数など | ○ | | | |
| | 編入学定員 | | ○ | | | ▲ |
| | 編入学者数 | | ○ | ■ | | ▲ |
| キャンパス | 学部・研究科等のキャンパスの所在地 | | ○ | | | ▲ |
| | アクセス | 主な交通手段や所要時間など | ○ | | リンク可 | ▲ |
| | 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育環境 | サテライトキャンパス、運動施設の概要、課外活動に用いる施設、休憩を行う環境その他の学習環境、バリアフリーへの対応状況など | ○ | | リンク可 | ▲ |
| | 学生寮の整備状況 | 学生寮の有無、所在地、定員、費用、入寮条件、特色など | ○ | | リンク可 | |
| 費用及び 経済的支援 | 授業料 | | ○ | | | ▲ |
| | 入学料 | | ○ | | | ▲ |
| | その他の徴収費用 | 宿舍費用、教材購入費、施設利用料など | ○ | | | ▲ |
| | 学納金の延納・分納の可否 | | ○ | | | |
| | 休学及び復学に係る費用 | 休学時納付金の有無及び金額、復学時返金の有無及び金額など | ○ | | | |
| | 費用に関する説明 | | ○ | | リンク可 | |
| | 奨学金額 | | ○ | | リンク可 | |
| | 奨学金の受給資格 | | ○ | | リンク可 | |
| | 奨学金の支給枠 | | ○ | | リンク可 | |
| | 授業料減免 | | ○ | | リンク可 | |

| 情報項目 | | | 掲載方法 | | | 学校教育 法施行規 則で各大 学に公表 が義務付 けられた 9項目 |
|-----------|---------------------------|--|------------------|-----------------------------|---|---|
| | | | ポートレート への直接掲載 | 【参考】 学校基本 調査の調 査項目 | | |
| 進路 | 卒業生数・修了者数 | | | ○ | ■ | |
| | 卒業・修了者の構成(職業分類・男女別) | | ○ | ■ | | |
| | 卒業・修了者の構成(産業分類・男女別) | | ○ | ■ | | |
| | 卒業・修了者の構成(就職地域別) | | ○ | | | |
| | 進学者数、就職者数 | | ○ | ■ | | ▲ |
| 卒業・修了後の進路 | 主な就職先企業名や短期大学から大学への進学状況など | | | ○ | | |

大学ポータル検索イメージ

※イメージであり、システム開発の過程で変更があり得る。

国・公・私立共通の検索画面のイメージ

(1)カタカナを1文字以上入力する

知りたい学部・研究科・学科を選ぶ

○大学名検索
(大学名をカタカナで入力してください。)

(カナ入力)

○学部・研究科名検索
(学部・研究科名をカタカナで入力してください。)

(カナ入力)

○学科・専攻名検索
(学科・専攻名をカタカナで入力してください。)

(カナ入力)

○項目検索(以下の項目を指定し、検索ボタンを押し、候補を表示させてください。(複数指定可能))

○キャンパスの所在地 (複数選択可)

青森 秋田 山形 岩手 宮城 福島 新潟 茨城 :
▼

○分野 (複数選択可)

人文科学 社会科学 理学 工学 農学 保健(医・歯学) 保健(医・歯学を除く) 商船 :
▼

○課程区分(複数選択可)

すべて 短期大学士課程 学士課程 専門職学位課程 修士課程 博士課程

○設置形態(複数選択可)

すべて 国立 私立 その他

検索

(2)項目を1つ以上選択する

(3)「検索」をクリックすると、「表示選択」画面へ

「大学名検索」、「学部・研究科名検索」、「学科・専攻名検索」、「項目検索」はそれぞれ単独でも、併用でも検索可能

(4)検索の結果、候補が表示される

「詳細検索」ボタンをクリックすると、国・公・私ごとの詳細検索画面へ

50音順で昇順、降順
所在地を北から、南から
並べ替えることも可能

表示選択

候補から詳細を表示させたい大学等をクリックしてください。

| 国立 | | | | 公立 | | | | 私立 | | | | その他 | | | |
|------|--------------------------------|-------------------------------|-----|-------|--------------------------------|-------------------------------|------|-------|--------------------------------|-------------------------------|-----|------|--------------------------------|-------------------------------|-----|
| 詳細検索 | | | | 詳細検索 | | | | 詳細検索 | | | | 詳細検索 | | | |
| 大学名 | 学部・研究科名 (大学) 学科名 (短大) | 学科・専攻名 (大学) 専攻名 (短大) | 所在地 | 大学名 | 学部・研究科名 (大学) 学科名 (短大) | 学科・専攻名 (大学) 専攻名 (短大) | 所在地 | 大学名 | 学部・研究科名 (大学) 学科名 (短大) | 学科・専攻名 (大学) 専攻名 (短大) | 所在地 | 大学名 | 学部・研究科名 (大学) 学科名 (短大) | 学科・専攻名 (大学) 専攻名 (短大) | 所在地 |
| ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ |
| ▼ | ▼ | ▼ | ▼ | ▼ | ▼ | ▼ | ▼ | ▼ | ▼ | ▼ | ▼ | ▼ | ▼ | ▼ | ▼ |
| A大学 | + | + | 青森県 | E大学 | + | + | 山口県 | J大学 | + | + | 福島県 | O大学 | + | + | 東京都 |
| B大学 | + | + | 京都府 | G大学 | + | + | 福岡県 | K大学 | + | + | 東京都 | P大学 | + | + | 東京都 |
| C大学 | + | + | 京都府 | H大学 | + | + | 栃木県 | L短期大学 | + | + | 千葉県 | | | | |
| D大学 | + | + | 宮城県 | I短期大学 | + | + | 和歌山県 | M大学 | + | + | 沖縄県 | | | | |
| E大学 | + | + | 岐阜県 | | | | | N大学 | + | + | 東京都 | | | | |

大学名をクリックすると、大学全体のページが別ウィンドウで開く

(5) + をクリックすると、当該大学等の学部・研究科(大学)、学科(短大)が表示される

表示選択

候補から詳細を表示させたい大学等をクリックしてください。

(6) 当該大学等の学部・研究科(大学)、
学科(短大)が表示される

| 国立 | | | | 公立 | | | | 私立 | | | | その他 | | | |
|-----|--------------------------------|-------------------------------|-----|-----|--------------------------------|-------------------------------|-----|--------|--------------------------------|-------------------------------|------|-----|--------------------------------|-------------------------------|-----|
| 大学名 | 学部・研究科名 (大学) 学科名 (短大) | 学科・専攻名 (大学) 専攻名 (短大) | 所在地 | 大学名 | 学部・研究科名 (大学) 学科名 (短大) | 学科・専攻名 (大学) 専攻名 (短大) | 所在地 | 大学名 | 学部・研究科名 (大学) 学科名 (短大) | 学科・専攻名 (大学) 専攻名 (短大) | 所在地 | 大学名 | 学部・研究科名 (大学) 学科名 (短大) | 学科・専攻名 (大学) 専攻名 (短大) | 所在地 |
| ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ |
| | + | + | | | + | + | | | + | + | | | + | + | |
| A大学 | + | | 青森県 | F大学 | + | | 山口県 | J大学 | + | | 福島県 | | | | |
| B大学 | + | | | | | | | K大学 | + | | 東京都 | | | | |
| C大学 | + | | | | | | | ○○学部 | + | | 東京都 | | | | |
| D大学 | + | | | | | | | ××学部 | | | 神奈川県 | | | | |
| E大学 | + | | 岐阜県 | | | | | △△学部 | | | 東京都 | | | | |
| | | | | | | | | ○○研究科 | | | 東京都 | | | | |
| | | | | | | | | ××研究科 | | | 神奈川県 | | | | |
| | | | | | | | | L短期大学部 | + | | 千葉県 | | | | |

学部・研究科名(大学)、
学科名(短大)をクリックすると、
学部・研究科(大学)、学科(短大)
ごとのページが別ウィンドウで開く

— をクリックすると、
大学名までの表示に戻る

学部・研究科(大学)、
学科(短大)ごとの
キャンパス所在地の
表示となるので、
同一の大学でも所在地が
異なる場合がある

(7) + をクリックすると、
当該学部・研究科の学科・専攻(大学)、
学科の専攻(短大)が表示される

表示選択

候補から詳細を表示させたい大学等をクリックしてください。

(8) 当該学部・研究科の学科・専攻(大学)、
学科の専攻(短大)が表示される

| 国立 | | | | 公立 | | | | 私立 | | | | その他 | | | |
|-----|--------------------------------|-------------------------------|-----|-------|--------------------------------|-------------------------------|------|------|--------------------------------|-------------------------------|------|-----|--------------------------------|-------------------------------|-----|
| 大学名 | 学部・研究科名 (大学) 学科名 (短大) | 学科・専攻名 (大学) 専攻名 (短大) | 所在地 | 大学名 | 学部・研究科名 (大学) 学科名 (短大) | 学科・専攻名 (大学) 専攻名 (短大) | 所在地 | 大学名 | 学部・研究科名 (大学) 学科名 (短大) | 学科・専攻名 (大学) 専攻名 (短大) | 所在地 | 大学名 | 学部・研究科名 (大学) 学科名 (短大) | 学科・専攻名 (大学) 専攻名 (短大) | 所在地 |
| ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ |
| | + | + | | | + | + | | | + | + | | | + | + | |
| A大学 | + | | 青森県 | E大学 | + | | 山口県 | J大学 | + | | 福島県 | O大学 | + | | 東京都 |
| B大学 | + | | 京都府 | G大学 | + | | 福岡県 | K大学 | + | | 東京都 | P大学 | + | | 東京都 |
| C大学 | + | | 京都府 | H大学 | + | | 栃木県 | ○○学部 | + | | 東京都 | | | | |
| D大学 | + | | 富城県 | I短期大学 | + | | 和歌山県 | ●●学科 | | | 東京都 | | | | |
| E大学 | + | | 岐阜県 | | | | | ▲▲学科 | | | 東京都 | | | | |
| | | | | | | | | ■●学科 | | | 東京都 | | | | |
| | | | | | | | | ◆◆学科 | | | 東京都 | | | | |
| | | | | | | | | ××学部 | | | 神奈川県 | | | | |

— をクリックすると、
学部・研究科(大学)、
学科(短大)までの
表示に戻る

学科・専攻名(大学)、専攻名(短大)を
クリックすると、各大学ホームページの
当該学科・専攻等のページが別ウィンドウで開く

表示選択

＋をクリックすると、候補の「学部・研究科名(大学)、学科名(短大)」または「学科・専攻名(大学)、専攻名(短大)」がすべて表示される

検索で絞り込まれた結果候補が少ない場合は、あらかじめすべて展開された状態で表示される

| 国立 | | | | 公立 | | | | 私立 | | | | その他 | | | |
|------|--------------------------------|-------------------------------|-----|------|--------------------------------|-------------------------------|-----|------|--------------------------------|-------------------------------|------|------|--------------------------------|-------------------------------|-----|
| 詳細検索 | | | | 詳細検索 | | | | 詳細検索 | | | | 詳細検索 | | | |
| 大学名 | 学部・研究科名 (大学) 学科名 (短大) | 学科・専攻名 (大学) 専攻名 (短大) | 所在地 | 大学名 | 学部・研究科名 (大学) 学科名 (短大) | 学科・専攻名 (大学) 専攻名 (短大) | 所在地 | 大学名 | 学部・研究科名 (大学) 学科名 (短大) | 学科・専攻名 (大学) 専攻名 (短大) | 所在地 | 大学名 | 学部・研究科名 (大学) 学科名 (短大) | 学科・専攻名 (大学) 専攻名 (短大) | 所在地 |
| ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ |
| ▼ | ▼ | ▼ | ▼ | ▼ | ▼ | ▼ | ▼ | ▼ | ▼ | ▼ | ▼ | ▼ | ▼ | ▼ | ▼ |
| | + | + | | | - | + | | | - | - | | | - | - | |
| A大学 | + | | 青森県 | F大学 | - | | 山口県 | J大学 | - | | 福島県 | Q大学 | - | | 東京都 |
| B大学 | + | | 京都府 | | ○○学部 | + | 山口県 | | ××学部 | ××学科 | 東京都 | | ○○学部 | - | 東京都 |
| C大学 | + | | 京都府 | | ××学部 | + | 山口県 | | △△学部 | △△学科 | 東京都 | | | ●●学科 | 東京都 |
| D大学 | + | | 宮城県 | G大学 | - | | 福岡県 | K大学 | - | | 東京都 | | | ▲▲学科 | 東京都 |
| E大学 | + | | 岐阜県 | | △△学部 | + | 福岡県 | | ○○学部 | - | 東京都 | | ××学部 | ××学科 | 東京都 |
| | | | | | □□学部 | + | 福岡県 | | | ●●学科 | 東京都 | P大学 | □□学部 | ■■学科 | 東京都 |
| | | | | H大学 | - | | 栃木県 | | | ▲▲学科 | 東京都 | | | | |
| | | | | | ◇◇学部 | + | 栃木県 | | | ■■学科 | 神奈川県 | | | | |

「学部・研究科名(大学)、学科名(短大)」の＋をクリックした状態。候補の「学部・研究科名(大学)、学科名(短大)」がすべて展開されて表示される。
- をクリックすると、すべて非表示の状態に戻る。

「学科・専攻名(大学)、専攻名(短大)」の＋をクリックした状態。候補の「学部・研究科名(大学)、学科名(短大)」および「学科・専攻名(大学)、専攻名(短大)」のすべてが展開されて表示される。
- をクリックすると、すべて非表示の状態に戻る。

大学ポートレート表示イメージ

(全体表示)

※イメージであり、システム開発の過程で変更があり得る。

| | | | |
|----------------|---|------------|----------------|
| 大学全体の情報 | 【大学の基本情報】 大学名、大学の連絡先(代表番号、メールアドレスなど)、大学の種類、本部所在地、設立年(設置認可年)、総学生数(学部、大学院)、総教員数(本務者) 【大学の教育研究上の目的等】 大学の教育研究上の目的や建学の精神 【大学の特色等】 大学の特色等 【教育研究上の基本組織】 学部、研究科の名称、その他の学内組織の名称 【キャンパス】 キャンパスの概要(アクセス、地図、写真等) 【評価結果】 認証評価及びその他の評価の結果、 【学生支援】 修学支援、心身の健康に係る支援、留学生支援、障がい者支援、就職・進路選択支援 【課外活動】 クラブ活動の状況、ボランティア活動の状況 | | |
| | 設置形態 国立 | 大学名 A大学 | 学部・研究科名 医学部 |

利用者が選択した学部・研究科を明示。

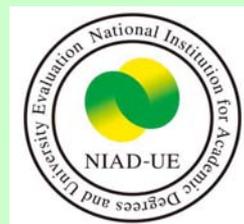
| | |
|-------------------------|--|
| + 教育研究上の目的と3つの方針 | 学部、研究科、学科等ごとの目的 |
| + 学部・研究科等の特色等 | 学部・研究科等の特色等 |
| + 教育課程 | 学科・専攻、専攻課程等の名称、修業年限、取得可能な学位、教育課程の特色、教育課程編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)、授業科目、授業の方法・内容、年間の授業計画(年間の授業計画、シラバス等)、学生が修得すべき知識及び能力に関する情報、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)、学修の成果に係る評価の基準、卒業・修了認定の基準、取得可能な主な資格、取得人数、転学部・編入学等の可否、費用負担 |
| + 入試 | 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)、入学者数、実施している入試方法、入試特別措置、入学者の構成(男女別、出身高校所在地別、入試方法別) |
| + 教員 | 教員組織、教員数、教員が有する学位・業績、教員の構成(職位別、男女別、外国人教員)、教員の構成(年齢別) |
| + 学生 | 収容定員、学生数、学生の構成(年次別、男女別、外国人学生)、その他の学生数(研究生、科目等履修生、専攻科の学生数など)、編入学定員、編入学者数 |
| + キャンパス | 学部・研究科等のキャンパスの所在地、アクセス、キャンパスの外観(写真等)、キャンパスアクセス図、キャンパス周辺図、校地・校舎等の施設及び設備その他の学生の教育環境(バリアフリー等への対応状況含む)、学生寮の整備状況(学生寮の有無、所在地、定員、寮費(食費込、食費無)、入寮条件、特色) |
| + 費用及び経済的支援 | 授業料、入学料、その他の徴収費用(宿舍費用、教材購入費、施設利用料など)、学納金の延納・分納の可否、休学及び復学に係る費用、費用に関する説明、奨学金(金額、受給資格、支給枠)、授業料減免 |
| + 進路 | 卒業・修了者数、進学者数、就職者数、卒業・修了者の構成(男女別、職業別、産業別、就職地域別)、卒業・修了後の進路 |

1. 大学全体に関する表示イメージ

大学全体の情報①

| | |
|---------------------|------------------------|
| 大学名 | 本部所在地 |
| A大学 | 〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇 |
| 設立年(設置認可年) | 大学の連絡先(代表番号、メールアドレスなど) |
| 昭和〇〇年 | 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 |
| 大学の種類 | |
| 国立・大学・学部修業年限6年・大学院有 | |

ロゴ等



大学の教育研究上の目的や建学の精神

広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、もって学術・研究の向上に寄与する有為な人材を育成することを目的としています。

大学トップページへ

大学の特色等

妊娠・出産、育児支援等、女性の生涯にわたる健康づくりを支援し、地域の母子保健に貢献できる助産師を育成するため〇〇年4月に「助産学専攻科」を新設しました。

大学の沿革ページへ

| | | |
|----------|-----------|-----------|
| 総学生数(学部) | 総学生数(大学院) | 総教員数(本務者) |
| 12,345人 | 4,321人 | 1,543人 |

教育研究上の基本組織

| | |
|------|-----------------------|
| ○学部 | 学部名 |
| | 医学部 |
| | 〇〇学部 |
| | △△学部 |
| ○大学院 | 研究科名 |
| | 〇〇研究科 |
| | ××研究科 |
| | △△研究科 |

利用者の興味のある学部名をクリックすることで、学部単位の情報を表示させることも可能な仕組み

キャンパスの概要(アクセス、地図、写真等)



小平本館
JR中央線国分寺駅で西武多摩湖線に垂換
一橋学園駅 南口 徒歩7分
JR武蔵野線新小平駅 徒歩20分

竹橋オフィス
東京メトロ半蔵門線/都営三田線・新宿線
神保町駅 出口 No.AB,A9 徒歩5~6分



<小平本館>
(一橋大学小平国際キャンパス内)



その他の学内組織

| |
|---------|
| 〇〇研究所 |
| △△センター |
| ××附属幼稚園 |

折り畳みで通常は隠れている

大学のHPへ

評価結果(認証評価及びその他の評価の結果)

| | 評価結果 | 評価機関 | 評価年月 | 概要 |
|------------|---------------------|--------|-------|---|
| 大学機関別認証評価 | 大学評価基準を満たしている | 〇〇評価機関 | 〇〇年〇月 | 将来のビジョンを明確に設定している点、学生と教員で双方向的な授業評価アンケートをシステム化して実施している点などが特に優れた点として評価されています。 |
| 〇〇専門職大学院評価 | 〇〇専門職大学院評価基準を満たしている | 〇〇評価機関 | △△年△月 | 評価結果の詳細については評価報告書をご覧ください。 |
| 国立大学法人評価 | 全項目で良好又はおおむね良好 | — | ◇◇年◇月 | 評価結果の詳細については評価報告書をご覧ください。 |

大学HPへ

大学HPへのリンクが基本であるが、制度や組織の情報の他、それぞれの方針や目的をポートレート上に記載することも可能

大学全体の情報②

学生支援

修学支援

[大学HPへ](#)

初年次教育として受験時に選択しなかった科目についての基礎的な知識の導入を行っている。また学生部による奨学金制度、提携教育ローンの紹介と斡旋によって、金銭的に就学が困難な学生を支援している。

心身の健康に係る支援

[大学HPへ](#)

保健センターによる支援だけでなく、カウンセリングセンターによる臨床心理士によるカウンセリングを行っている。

留学生支援

[大学HPへ](#)

日本語授業を開講しているほか、チューターサポーター制度、留学生寮、アルバイト紹介等の生活支援を行っている。

留学生支援(日本人学生への支援)

[大学HPへ](#)

下記のプログラムで留学を支援している。
○海外研修プログラム(夏季休暇中2~4週間程度、派遣先:米、豪、泰、中、韓、墨)
○交換留学制度(1~2学期、派遣先:9か国、11大学)

障がい者支援

[大学HPへ](#)

障がい者支援室を置き、様々な支援を行っている。例えば視覚障がいは教材の拡大、点訳。聴覚障がいはノートテイク、手話通訳。肢体不自由は駐車スペース確保、教室移動介助、排泄介助など

就職・進路選択支援

[大学HPへ](#)

就職キャリア支援センターによる日常的な相談対応、求人紹介業務等を実施している。

課外活動

クラブ活動の状況

[大学HPへ](#)

- 1.体育系サークル:(30団体)
- 2.文化系サークル:(17団体)
- 3.同好会:(30団体(体:14、文:16))

ボランティア活動の状況

[大学HPへ](#)

震災に伴うボランティア活動
・付与単位数:ボランティア活動
5日間以上=2単位
・付与単位数上限:年2単位まで、卒業までに最高4単位

2. 学部・研究科に関する表示イメージ

| 設置形態 | 大学名 | 学部・研究科名 | 学部単位の対象情報表示画面には、最上段に現在表示させている大学の設置形態、大学名、学部・研究科名を明示する。 |
|-----------------------|---|---------|--|
| 国立 | A大学 | 医学部 | |
| 教育研究上の目的と3つの方針 | 学部、研究科、学科等ごとの目的 医療の実践者にふさわしい豊かな人間性と幅広い教養を身に付け、専門職となるための基礎的知識、技能、態度を修得し、さらに科学的思考力と創造性に富む人材を育てることをめざしています。 | | 学部等のトップページ 学部等の沿革ページへ |
| | 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー) 1) 医学に強い興味を持ち、探求心が旺盛な学生 2) 基礎学力を身につけている学生 3) 協調性があり、問題解決において指導力を発揮できる学生 4) 国際的に活躍する意欲を持った学生 | | 大学HPへ |
| | 教育課程編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー) 1) 医師、医学研究者となる上での高度な基盤知識の伝授と思考能力の育成 2) 知的好奇心や研究への関心の開拓 3) 医療人としての認識の確立 | | 大学HPへ |
| | 学位授与方針(ディプロマ・ポリシー) 所定の期間在学し、卒業に必要な単位を修得し、かつ卒業試験に合格する。卒業までに、本学科学生が課程を通じて達成を目指す学習目標は次のとおりとする。 ・幅広く高度な知識を有し、高い倫理観を有する。 ・旺盛な探究心と創造力に加えて、課題を設定し解決できる能力を有する。 ・多様な価値観を尊重し、国際的に活躍できる能力を有する。 ・医学・生命科学に関する幅広い技術を身につけ、適切に発揮できる。 | | 大学HPへ |
| 学部・研究科等の特色等 | 学部・研究科等の特色等 地域医療教育センターを設立し、地方自治体、市域医療関係機関等と連携し、医療人(医師、看護師等コメディカル)の地域における偏在を是正するとともに、地域医療人の生涯にわたる医療技術の向上を支援するため、入学から卒前・卒後臨床研修、専門職修得までの流れの中で、地域医療を担う医療人の教育・研修などを行っている。 | | 大学HPへ |
| | また、文部科学省が行っている「国公私立大学を通じた大学教育改革の支援」の〇〇プログラムに本学の以下の取組が採択されています。 『〇〇養成プログラム』 | | 学部・研究科等の所在地情報へ |

教育課程

学科・専攻、専攻課程等の名称

| 学部・研究科名 | 学科・専攻名 | 修業年限 | 取得可能な学位 |
|---------|--------|------|---------|
| 医学部 | 医学科 | 6年 | 学士(医学) |
| | 看護学科 | 4年 | 学士(看護学) |
| | △△学科 | 4年 | 学士(△△) |

※医学部と看護学部を持つ想定だが、医学科のみとなってしまうため、説明上、便宜的に看護学科の内容を加えている。

教育課程編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)

- 1) 医師、医学研究者となる上での高度な基盤知識の伝授と思考能力の育成
- 2) 知的好奇心や研究への関心の開拓
- 3) 医療人としての認識の確立

教育課程の特色(履修モデル、カリキュラムマップ等)

講義、臨床実習を通じて以下の知識・態度を習得する。

1. 将来地域医療さらに医学一般の種々の領域に進むために必要な基礎知識と基本的技能。
2. 保健・医療の専門職として必要な基本的態度・習慣。
3. 社会人としての素養を高め、自然・社会・人文科学的方法を統合して、医学的問題を正しくとらえ、解決する基本的能力。
4. 知識・技能・態度を自ら評価し、自発的学習と修練によって向上し続ける習慣を身につける。

大学HPへ

授業科目

大学HPへ

授業の方法・内容

大学HPへ

年間の授業計画

大学HPへ

シラバス等

大学HPへ

学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

大学HPへ

破線で囲まれた部分は、公表を希望する大学のみ表示される仕組み。
公表を希望しない場合は、当該内容は表示されない。

学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

所定の期間在学し、卒業に必要な単位を修得し、かつ卒業試験に合格する。

卒業までに、本学科学生が課程を通じて達成を目指す学習目標は次のとおりとする。

- ・幅広く高度な知識を有し、高い倫理観を有する。
- ・旺盛な探究心と創造力に加えて、課題を設定し解決できる能力を有する。
- ・多様な価値観を尊重し、国際的に活躍できる能力を有する。
- ・医学・生命科学に関する幅広い技術を身につけ、適切に発揮できる。

学修の成果に係る評価の基準

大学HPへ

卒業・修了認定の基準

大学HPへ

取得可能な主な資格、取得人数

大学HPへ

転学部・編入学等の可否、費用負担

| | | |
|------|----------|-----------------------|
| 転学部可 | 35,000円 | 検定料のみ |
| 編入学可 | 852,800円 | 検定料35,000円および、入学料、授業料 |

入試①

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

- 1) 医学に強い興味を持ち、探求心が旺盛な学生
- 2) 基礎学力を身につけている学生
- 3) 協調性があり、問題解決において指導力を発揮できる学生
- 4) 国際的に活躍する意欲を持った学生

大学HPへ

入学者数

| 2010 | 2011 | 2012 | 数値の説明(増減理由等) |
|------|------|------|----------------------|
| 100人 | 110人 | 109人 | 2011年10名定員増(地域医療特別枠) |

(2012年〇月現在)

実施している入試方法

| | |
|-----------------------|------|
| <input type="radio"/> | 一般 |
| | AO |
| <input type="radio"/> | 推薦 |
| | 帰国子女 |
| | 社会人 |
| | 附属校 |
| <input type="radio"/> | 編入学 |
| | その他※ |
| <input type="radio"/> | 留学生 |

※その他は一芸一能入試、専門高校・総合学科卒業生入試、飛び級、中国引揚者等子女入試など

入試特別措置

| | |
|-----------------------|--|
| <input type="radio"/> | ・ 1.5 倍または1.3 倍の時間延長 |
| <input type="radio"/> | ・ 点字での受験、文字サイズ1.4 倍、紙面2 倍に拡大した問題用紙、拡大鏡等の使用 |
| <input type="radio"/> | ・ 回答方式(チェック解答、文字解答、代筆) |
| <input type="radio"/> | ・ 意思伝達装置やパソコンを使用した意思表出 |
| <input type="radio"/> | ・ 手話通訳者、介助者の配置 |
| <input type="radio"/> | ・ リスニングの免除、またはリスニング音声聴取を制御する許可 |
| <input type="radio"/> | ・ 試験室の場所(トイレやエレベータとの距離関係) |
| <input type="radio"/> | ・ 杖や補聴器、車いす、特製机の使用など |
| その他の特別措置 | 肢体不自由の場合、駐車スペース確保、移動介助、排泄介助などを実施している。 |

入試②

破線で囲まれた部分は、公表を希望する大学のみ表示される仕組み。
公表を希望しない場合は、当該内容は表示されない。

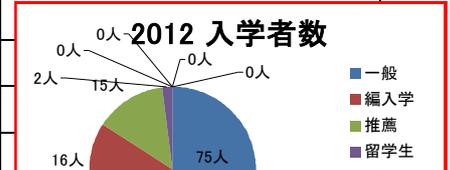
入学者の構成(男女別)

| 2010 | | 2011 | | 2012 | | 数値の説明(増減理由等) |
|------|-----|------|-----|------|-----|--------------|
| 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | |
| 74人 | 26人 | 80人 | 30人 | 81人 | 28人 | — |

(2012年〇月現在)

入学者の構成(出身高校所在地別)

| 2010 | | 2011 | | 2012 | | 数値の説明(増減理由等) |
|-------|-----|------|-----|------|-------------|--------------|
| 都道府県 | 学生数 | 都道府県 | 学生数 | 都道府県 | 学生数 | |
| ① ○○県 | 25人 | ○○県 | 38人 | ○○県 | 40人 | 2011より地域医療枠 |
| ② △△県 | 18人 | ◇◇県 | 20人 | △△県 | 18人 | |
| ③ ◇◇県 | 15人 | △△県 | 15人 | ◇◇県 | 12人 | |
| ④ ●●県 | 13人 | ●●県 | 10人 | ●●県 | 11人 | |
| ⑤ ▲▲県 | 10人 | ▲▲県 | 10人 | ◆◆県 | 11人 | |
| その他 | 19 | その他 | 17 | そ | (2012年〇月現在) | |



各データのグラフ表示例。
 グラフエリアを設けるか、ポップアップで表示させる。またグラフの形式を利用者が選択できる仕組みとする。

入学者の構成(入試方法別)

| | 2010 | 2011 | 2012 | 数値の説明(増減理由等) |
|------|------|------|------|-------------------|
| | 入学者数 | 入学者数 | 入学者数 | |
| 一般 | 82人 | 76人 | 75人 | 2011より地域医療枠へ(5名減) |
| AO | 0人 | 0人 | 0人 | — |
| 推薦 | 5人 | 15人 | 15人 | 2011より地域医療枠(10名増) |
| 帰国子女 | 0人 | 1人 | 1人 | — |
| 社会人 | 0人 | 0人 | 0人 | — |
| 附属校 | 0人 | 0人 | 0人 | — |
| 編入学 | 11人 | 15人 | 16人 | 2011より地域医療枠(5名増) |
| その他※ | 0人 | 0人 | 0人 | — |
| 留学生 | 2人 | 3人 | 2人 | — |

※その他は一芸一能入試、専門高校・総合学科卒業生入試、飛び級、中国引揚者等子女入試など

(2012年〇月現在)

教員

教員組織

[大学HPへ](#)

教員が有する学位、業績

[大学HPへ](#)

教員数

| 2010 | 2011 | 2012 | 数値の説明(増減理由等) |
|------|------|------|-----------------|
| 205人 | 215人 | 218人 | 2011年の定員増に対応し増員 |

破線で囲まれた部分は、公表を希望する大学のみ表示される仕組み。
公表を希望しない場合は、当該内容は表示されない。

教員の構成(職位別、男女別、外国人教員)

| | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | 合計 | 比率 | 数値の説明 |
|-------|-----|-----|-----|-----|----|------|-------|-------|
| 男 | 45人 | 46人 | 25人 | 75人 | 3人 | 194人 | 89.0% | — |
| 女 | 3人 | 6人 | 2人 | 12人 | 1人 | 24人 | 11.0% | |
| うち外国人 | 0人 | 2人 | 0人 | 1人 | 0人 | 3人 | 1.4% | |

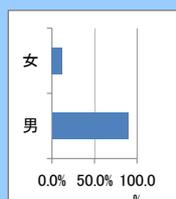
(2012年〇月現在)

教員の構成(年齢別)

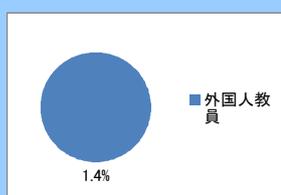
| | ~20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代~ | 数値の説明 |
|---|------|-----|-----|-----|------|-----------------------------------|
| 男 | 0人 | 60人 | 55人 | 45人 | 34人 | 院内保育園(H20開設)など女性の働きやすい環境整備に努めている。 |
| 女 | 1人 | 10人 | 6人 | 6人 | 1人 | |

(2012年〇月現在)

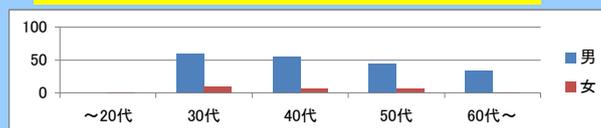
教員の構成(男女別)



教員の構成(外国人教員)



教員の構成(年齢別)



各データのグラフ表示例。

グラフエリアを設けるか、ポップアップで表示させる。またグラフの形式を利用者が選択できる仕組みとする。

学生

収容定員

| 2010 | 2011 | 2012 | 数値の説明(増減理由等) |
|------|------|------|-----------------|
| 600人 | 610人 | 620人 | 2011より10名の入学定員増 |

(2012年〇月現在)

学生数

| 2010 | 2011 | 2012 | 数値の説明(増減理由等) |
|------|------|------|-----------------|
| 610人 | 620人 | 627人 | 2011より10名の入学定員増 |

(2012年〇月現在)

編入学定員・編入学者数

| | 2010 | 2011 | 2012 | 数値の説明(増減理由等) |
|---------|------|------|------|-----------------------------|
| 2年次(定員) | 5人 | 10人 | 10人 | 2011年より地域医療枠として、2年次編入学定員5名増 |
| 編入学者数 | 6人 | 10人 | 10人 | |
| 3年次(定員) | 5人 | 5人 | 5人 | — |
| 編入学者数 | 5人 | 5人 | 6人 | |

(2012年〇月現在)

破線で囲まれた部分は、公表を希望する大学のみ表示される仕組み。
公表を希望しない場合は、当該内容は表示されない。

学生の構成(年次別、男女別、外国人学生)

| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 合計 | 比率 |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-------|
| 男 | 74人 | 83人 | 82人 | 77人 | 78人 | 80人 | 474人 | 75.6% |
| 女 | 26人 | 32人 | 27人 | 22人 | 22人 | 24人 | 153人 | 24.4% |
| うち外国人 学生数 | 2人 | 3人 | 1人 | 2人 | 3人 | 2人 | 13人 | 2.1% |
| 数値の説明(増減理由等) | — | | | | | | | |

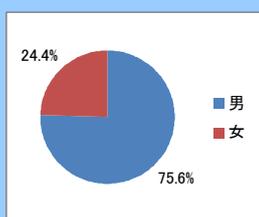
(2012年〇月現在)

その他の学生数(研究生、科目等履修生、専攻科の学生数など)

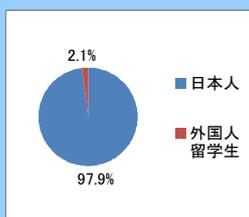
| 2010 | 2011 | 2012 | 数値の説明(増減理由等) |
|------|------|------|--------------|
| 7人 | 7人 | 7人 | すべて研究生 |

(2012年〇月現在)

学生の構成(男女比)



学生の構成(留学生比率)



各データのグラフ表示例。
 グラフエリアを設けるか、ポップアップで表示させる。またグラフの形式を利用者が選択できる仕組みとする。

キャンパス

学部・研究科等のキャンパスの所在地

アクセス

〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇

〇〇駅から徒歩5分

[大学HPへ](#)

キャンパスの外観(写真等)



キャンパスアクセス図



キャンパス周辺図



校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育環境(バリアフリー等の対応状況含む)

○全館バリアフリー対応済

○コンビニ、学内レストラン、カフェテリア、コーヒショップ

[大学HPへ](#)

学生寮の整備状況

学生寮の有無

所在地

学生寮からキャンパスへのアクセス

有

〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇

キャンパスに隣接

定員

寮費(食費込)

寮費(食費無)

100人

120,000円

30,000円

(2012年〇月現在)

[大学HPへ](#)

入寮条件

原則として、自宅から大学までの通学時間が、片道2時間以上の者を対象としています。ただし、研究生、聴講生、特別研究学生、特別聴講学生、科目等履修生及び在学生在で最短修業年限を超えている者は入寮の資格がありません。また学費負担者の年収が800万円を超える場合は入寮の資格がありません。

特色

協調性と、問題解決において指導力を発揮できる人間性の涵養に資する。また外国人留学生と日常生活を通じて異文化交流を図ることによって、多様な価値観を尊重し、国際的に活躍できる能力をよりいっそう高めることにあります。

費用及び経済的支援

| | 授業料 | 入学料 | その他の徴収費用(宿舍費用、教材購入費、施設利用料など) |
|----------|----------|-------------------|------------------------------|
| | 535,800円 | 0円から282,000円 | 約250,000円から300,000円程度 |
| 費用に関する説明 | — | 附属高校からの進学者のみ入学料免除 | 第2学年以降、教科書・参考書・実習用白衣などの費用として |

大学HPへ

(2012年〇月現在)

学納金の延納・分納の可否

学納金の延納 学納金の分納

| | |
|---|---|
| 可 | 可 |
|---|---|

休学及び復学に係る費用

休学時納付金 休学時納付金(復学時返還の有無) 休学時納付金(返還額)

| | | |
|---------|---|----|
| 23,500円 | 有 | 一部 |
|---------|---|----|

費用に関する説明

4月及び10月に手続きを完了した場合は、授業料(1ヶ月分)に減免

大学HPへ

日本学生支援機構の奨学金ページへ

奨学金(金額、受給資格、支給枠)

| 制度名 | 受給資格 | 支給枠 | 支給金額 |
|---------------|---|------|-------------------------|
| ① ○○大学基金奨学金 | 学部1年次生のうち、経済的支援を必要とする成績、人物共に優秀な学生であること。 | 50名 | 年500,000円 又は250,000円 |
| ② ○○大学基金緊急奨学金 | (1)学資負担者が死亡したとき (2)本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたとき (3)本人若しくは学資負担者が勤務する会社等の倒産、解雇、病気・事故等による就労困難等によりやむを得ず失職・退職したとき | 定めなし | 一時金として 250,000円 |
| ③ ○○△△氏奨学基金 | (1)医学部に在籍し学業・人物共に優秀で、かつ、心身共に健康である者 (2)他の奨学財団(日本学生支援機構を除く。)等からの奨学金を受けていない者 | 若干名 | 年500,000円 |

大学HPへ

(2012年〇月現在)

授業料減免

| 制度名 | 受給資格 | 対象人数 | 減免額 |
|---------------|--|-------------------|------------------------|
| ① 授業料免除及び徴収猶予 | 1.経済的な理由によって納付が困難で、かつ学業成績が優秀と認められる場合 2.各期ごとの授業料の納期前6月以内に学資負担者が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合 | ○○名程度(予算、支給状況による) | 282,000円 又は141,000円 |
| ② | — | — | — |
| ③ | — | — | — |

大学HPへ

(2012年〇月現在)

進路①

卒業・修了者数

| 2010 | 2011 | 2012 | 数値の説明(増減理由) |
|------|------|------|---|
| 111人 | 109人 | 110人 | ○2010年より保健センター、カウンセリングセンター、就職キャリア支援センターが連携し、退学防止プログラムを実施している。 |

(2012年〇月現在)

進学者数、就職者数

| | | 数値の説明 |
|-----------------|-----------------|-------|
| 進学者 | 大学院研究科 | 0人 |
| | 大学学部 | 0人 |
| | 短期大学本科 | 0人 |
| | 専攻科 | 0人 |
| | 別科 | 0人 |
| 就職者 | 正規の職員・従業員、自営業主等 | 0人 |
| | 正規の職員等でないもの | 0人 |
| 臨床研修医 | | 110人 |
| 専修学校・外国の学校等の入学者 | | 0人 |
| 一時的な仕事に就いた者 | | 0人 |
| 上記以外の者 | 進学準備中の者 | 0人 |
| | 就職準備中の者 | 0人 |
| | その他 | 0人 |
| 不詳・死亡の者 | | 0人 |

本学部卒業生は、全て臨床研修医となっている。

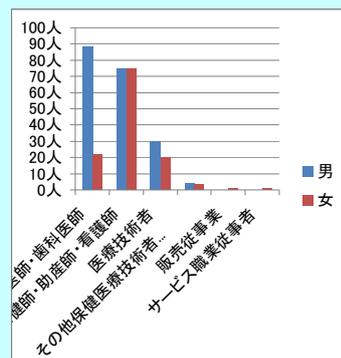
(2012年〇月現在)

破線で囲まれた部分は、公表を希望する大学のみ表示される仕組み。
公表を希望しない場合は、当該内容は表示されない。

卒業・修了者の構成(職業別、男女別)

| | 職業分類 | 男 | 女 | 数値の説明 |
|---|-----------------|-----|-----|-------|
| ① | 医師・歯科医師 | 88人 | 22人 | — |
| ② | 保健師・助産師・看護師 | 75人 | 75人 | |
| ③ | 医療技術者 | 30人 | 20人 | |
| ④ | その他保健医療技術者(その他) | 4人 | 3人 | |
| ⑤ | 販売従事業 | 0人 | 1人 | |
| ⑥ | サービス職業従事者 | 0人 | 1人 | |
| ⑦ | — | — | — | |
| ⑧ | — | — | — | |
| ⑨ | — | — | — | |
| ⑩ | — | — | — | |

(2012年〇月現在)



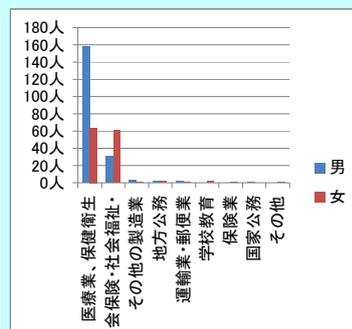
各データのグラフ表示例。
グラフエリアを設けるか、ポップアップで表示させる。またグラフの形式を利用者が選択できる仕組みとする。

進路②

破線で囲まれた部分は、公表を希望する大学のみ表示される仕組み。
 公表を希望しない場合は、当該内容は表示されない。

卒業・修了者の構成(産業別、男女別)

| | 産業分類 | 男 | 女 | 数値の説明 |
|---|----------------|------|-----|---|
| ① | 医療業、保健衛生 | 158人 | 64人 | ほとんどの卒業生が医療福祉の業務に就くが、他業種の就職先であっても、医療福祉に関連した専門性を求められる職務に就いている。 |
| ② | 社会保険・社会福祉・介護事業 | 31人 | 61人 | |
| ③ | その他の製造業 | 3人 | 1人 | |
| ④ | 地方公務 | 2人 | 2人 | |
| ⑤ | 運輸業・郵便業 | 2人 | 1人 | |
| ⑥ | 学校教育 | 0人 | 2人 | |
| ⑦ | 保険業 | 0人 | 1人 | |
| ⑧ | 国家公務 | 1人 | 0人 | |
| ⑨ | その他 | 0人 | 1人 | |
| ⑩ | — | — | — | |



各データのグラフ表示例。
 グラフエリアを設けるか、ポップアップで表示させる。またグラフの形式を利用者が選択できる仕組みとする。

※医学部と看護学部を持つ想定だが、①のみになってしまうため、説明上、便宜的に看護学部の内容も加えている。(2012年〇月現在)

卒業・修了者の構成(就職地域別)

| | 2010 | | 2011 | | 2012 | | 数値の説明(増減理由等) |
|---|------|-----|------|-----|------|-----|--|
| | 都道府県 | 学生数 | 都道府県 | 学生数 | 都道府県 | 学生数 | |
| ① | 〇〇県 | 32人 | 〇〇県 | 38人 | 〇〇県 | 50人 | 〇〇県と連携し臨床研修プログラムを実施することで、県内で臨床研修を行う卒業者が増加している。 |
| ② | △△県 | 20人 | ◇◇県 | 19人 | △△県 | 18人 | |
| ③ | ◇◇県 | 17人 | △△県 | 15人 | ◇◇県 | 11人 | |
| ④ | ●●県 | 13人 | ●●県 | 10人 | ●●県 | 9人 | |
| ⑤ | ▲▲県 | 10人 | ▲▲県 | 10人 | ◆◆県 | 5人 | |
| | その他 | 19人 | その他 | 17人 | その他 | 17人 | (2012年〇月現在) |

卒業・修了後の進路

大学HPへ

